

## 住友ゴム工業（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施 —最高ランクの格付を取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、住友ゴム工業株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：池田育嗣、以下「住友ゴム」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

住友ゴムは、明治 42 年、日本初の近代的ゴム工場として創業したタイヤメーカーであり、現在では、タイヤ、スポーツおよび産業品の分野でグローバルに事業を展開しています。住友ゴムは、重視する価値観・行動原則を定めた「住友ゴム WAY」を礎に、地球環境への取り組みを重要な経営課題の一つと位置づけ、CSR ガイドライン「GENKI(Green:緑化、Ecology:事業活動の環境負荷低減、Next:次世代型技術・製品の開発、Kindness:人にやさしい諸施策、Integrity:ステークホルダーへの誠実さ)」に沿って、優れた水準で環境経営を実践しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 高い技術力に裏打ちされた環境配慮型商品「エコラインアップ商品」の普及拡大による本業を通じた価値創造を掲げ、ライフサイクル CO2 の削減に向けた中長期目標により社外で実現する価値を定量化し、持続可能な社会の実現への貢献を明瞭に示している点
- (2) 天然ゴムの持続可能な調達に向けた代替原料に関する研究開発はもとより、CSR アンケートや説明会、サプライチェーン監査等を継続的に実施するなど、持続可能なサプライチェーン構築を推進している点
- (3) 非財務情報開示の潮流を捉まえ、従来から取り組んできた社会貢献活動「GENKI 活動」を発展させて CSR 活動の枠組みを整理するとともに、重要課題の見直しや目標管理を実施している点

その結果、住友ゴムは「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展

を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

**【お問い合わせ先】**

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455